上島町 議会だより

令和２年
12月号
Vol.61

《後列左から》
徳永貴久議員
林　康彦議員／池本光章議員／藏谷重文議員／寺下満憲議員／山上耕司議員
《前列左から》
池本興治議員／亀井文男議員／濱田高嘉議員／大西幸江議員／前田省二議員／林　敬生議員／藤田徹也議員
宮地利雄議員

【トピックス】

・全員協議会…… 2
・９月定例会…… 3
・予算決算委員会…… 6
・一般質問…… 8
・新議員抱負を語る……17
・住民との意見交換会……22
・町民の声……24

令和２年　第３回全員協議会

令和２年９月４日、全議員出席により第３回全員協議会が議場で開催され、９月定例会提出議案等の概略説明が行われた。

≪ 協 議 事 項 ≫

９月定例会提出議案の概略説明（抜粋）

専決処分の承認案件（令和２年上島町一般会計補正予算（第５号））

１億８００万円を追加 ⇒ 総額は８１億５，８００万円

主な新規事業

①移住定住促進事業　　４，１３２万３千円

多様な働き方の拡大に対応するため、空き家を買い入れて改修を行い、新規起業家等に貸し出し支援するもの。

②高齢者生活支援事業　　５８６万２千円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により敬老会が中止となったため、75歳以上の高齢者１人当たり３千円の商品券を配布するもの。

③観光プロモーション活動事業

１，４０６万円

Go toキャンペーン及び宿泊事業者応援割事業に併せてPR活動等を実施するもの。

④周遊コンテンツ制作事業

２，６３５万６千円

新しい旅行スタイルを実現するための環境整備及び自転車観光の推進を図るもの。

⑤新事業応援助成金事業　　９００万円

新しい生活様式に対応した新ビジネス、イベント、体験プログラムの展開に挑戦する取り組みを支援するもの。

≪ 報 告 事 項 ≫（抜粋）

○「みなとオアシス因島・上島」登録

みなとオアシスは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを推進するための施設として登録するもの。

港を中心としたイベントの開催にその相乗効果が期待できるとともに、情報を内外に発信しながら誘客を図る。

代表施設　土生港旅客ターミナル・立石港待合所

構成施設　ポートピアはぶ・尾道市営長崎駐車場・尾道市役所因島総合支所
生名フェリー・生名立石多目的グラウンド

設 置 者　尾道市・上島町

運 営 者　一般社団法人因島観光協会・上島町

９月定例会

令和２年第３回定例会は、９月10日～24日に開かれました。

提出された26議案のうち令和元年度各会計決算認定案16件、補正予算案３件は、予算決算委員会に審査を付託後、全て原案認定・可決。専決処分の承認案件１件、人事案件１件をはじめ工事請負・物品売買契約案件など５件は原案のとおり承認・同意・可決されました。また、議会側の案件では、後任の副議長を指名推薦により選出し、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（案）」及び「米軍機による低空飛行訓練の中止を求める意見書（案）」については、全会一致・賛成多数で可決されました。

なお、一般質問者は、これまでの最多の８名でした。

○令和２年度上島町一般会計補正予算（第６号）

４億６，９００万円を追加　⇒　総額は８６億２，７００万円

主な新規事業

①Web会議システム購入事業　５８２万５千円

各総合支所に専用のWeb会議システムを構築するもの。

②生名デイサービスセンターエアコン改修工事　２，５４８万７千円

空調設備の老朽化に伴い、施設の環境改善及び感染予防を図るもの。

③じん芥収集運搬車購入　２，４００万円

じん芥収集運搬業務の委託条件の統一化を図るために、弓削地区に２台、岩城地区に１台の車両を購入するもの。

④農業経営継続補助事業　５００万円

国の経営継続補助金に採択された事業者を対象に自己負担額の一部を補助するもの。

⑤レンタサイクル拡充事業　１，３５３万１千円

レンタサイクル用保管庫及び自転車等を整備するもの。

⑥積善山南遊歩道整備工事　５９４万６千円

平成30年７月豪雨で被災した遊歩道を整備するもの。

⑦防災倉庫整備事業　７４６万４千円

新たに防災倉庫を整備することで、適切な管理及び物資供給体制を構築するもの。

⑧小中学校感染予防対策事業　７８３万円

感染防止用の備品等を購入し、各施設に配備するもの。

⑨小中学校校務支援システム導入事業　３，３６６万円

教職員の負担軽減等を図るとともに、学校におけるICT環境を整備するもの。

⑩町道積善山線道路法面復旧工事　１，０７９万６千円

平成30年７月豪雨で被災した道路法面を整備するもの。

主な変更事業

①じん芥収集運搬処理業務　　▲２，４００万円

入札減少金による減額分を減額補正するもの。

②上島町飲食店応援スタンプカード事業

６００万円

当事業の追加増額分として増額補正するもの。

③財政調整基金積立金

３億９５９万４千円

岩城村保健福祉職員修学資金貸付金及び土地開発基金の廃止に伴う剰余金を積み立てるもの。

○令和２年度上島町介護サービス事業補正予算（第１号）

１２０万円を追加　⇒　総額は５，５３０万円

介護サービス事業所における、新型コロナウイルス感染症対策事業補助金に対応するもので、オゾン発生装置等の購入費を追加計上。

○令和２年度上島町特別養護老人ホーム事業補正予算（第１号）

２９０万円を追加　⇒　総額は４億４，７５０万円

新型コロナウイルス感染症の予防のため、特別養護老人ホームの送迎専用の車いす移動車の購入費等を追加計上。

○教育委員会委員の任命について

村上　寛仁（むらかみ　ひろひと）氏（生名）を任命することについて、全会一致をもって同意した。

学校・家庭・地域が一体となった上島の教育がますます充実したものになるよう努力させていただきますので、よろしくお願いします。

○副議長の選挙について

任期途中に辞職した亀井　文男 副議長の後任として、松原　彌一 議員が指名推選により選出された。

なお、任期は令和２年11月６日まで。

○米軍機による低空飛行訓練の中止を求める意見書（案）

提出議員：寺下　滿憲 議員

愛媛県内で頻発する米軍機による低空飛行を踏まえ、国は事態を正確に把握し、的確な情報提供を行うとともに、県民の安全・安心を確保する観点から、国において必要な措置を講じるよう強く要望する旨の意見書を政府各省庁等に提出する。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（案）

提出議員：前田　省二 議員

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的･社会的影響をもたらしており、今後の地方財政は、地方税・地方交付税の大幅な減少等によりかつてない厳しい状況になることが予想される。

地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためには、地方税･地方交付税等の一般財源総額の確保･充実等が確実に実現されるよう国に強く要望する旨の意見書を政府各省庁等に提出する。

工事請負等契約の締結について

（岩城漁港西防波堤機能保全工事）

契約の方法　一般競争入札
契約金額　５，４４５万円
契約の相手方　岩城建設　株式会社

（長江港浮桟橋改修工事）

契約の方法　一般競争入札
契約金額　１億１，５５４万６，３１９円
契約の相手方　岩城建設　株式会社

（篠塚漁港東防波堤機能保全工事）

契約の方法　一般競争入札
（総合評価落札方式）
契約金額　２億７９０万円
契約の相手方　有限会社　小川工務店

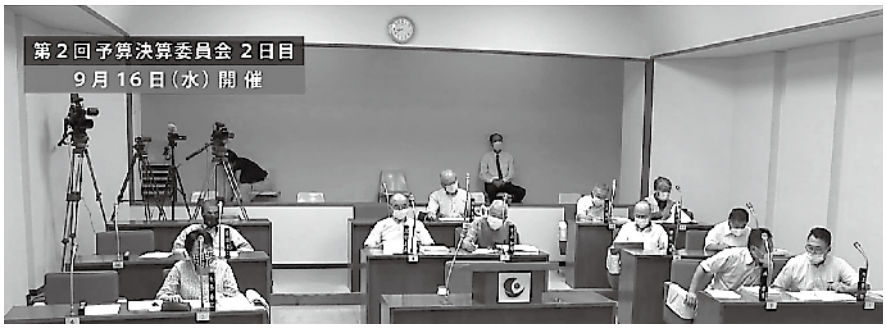
物品売買契約の締結について（GIGAスクール用端末購入事業）

契約の方法　随意契約
契約金額　１，６７７万７，２００円
契約の相手方　四国通建　株式会社

予算決算委員会付託案件　審査報告

令和2年9月15日、16日、24日の3日間にわたり予算決算委員会が開かれました。

9月11日、16日
欠席　藏谷　重文 委員



◇令和元年度上島町一般会計ほか15事業の特別会計等の歳入歳出決算認定案審議

・審査結果は、出席委員の全会一致でもって原案のとおり認定するものと決定した。

【審査時に出された主な意見】

決算審査においては、主要事業をメインに審議するという良い形になってきているが、今回の評価の中で、継続事業だから主要事業から外すといったような事例があった。

継続事業でも主要事業として扱うべきものと考えられるものがあり、行政側と議員側とで認識にずれがあると見受けられるため、主要事業としての捉え方を統一するような話し合いの場を持っていただき、主要事業の定義を３月定例会までに決めていただきたい。

◇令和２年度上島町一般会計補正予算（第６号）ほか２事業の特別会計の補正予算案審議

・審査結果は、出席委員の全会一致でもって原案のとおり可決するものと決定した。

【審査の際に出された主な質問事項】

・web会議システム購入事業の詳細な説明を求める。
・じん芥収集運搬車購入の詳細説明を求める。
・上島町飲食店応援スタンプカード事業の追加が上がってきているが、現状を説明いただきたい。
・レンタサイクル用保管庫はどこに設置するのか。
・レンタサイクル用自転車の購入に関して、古い型の自転車は今後どう扱うのか。
・感染防止教育事業の周知方法と実施時期の説明を求める。
・小中学校公務支援システムを導入するメリットは何か。

９月定例会提出議案　賛否の分かれた議案

賛成 ○　反対 ×　議長 ―　欠席 欠

議案名＼議員名	村上要二郎	林康彦	大西幸江	藏谷重文	寺下満憲	檜垣一成	平山和昭	濱田高嘉	前田省二	土居計彦	池本興治	松原彌一	亀井文男	池本光章	審議結果
議案第94号 工事請負契約の締結について （長江港浮桟橋改修工事）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	―	賛成10人 可　決
意見書第３号 米軍機による低空飛行訓練の中止を求める意見書（案）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	賛成11人 可　決

全会一致で可決、承認された議案

議案第72号 専決処分の承認を求めることについて （令和２年度上島町一般会計補正予算（第５号））	議案第92号 工事請負契約の締結について （岩城漁港西防波堤機能保全工事）
議案第93号 工事請負契約の締結について （篠塚漁港東防波堤機能保全工事）	議案第94号 工事請負契約の締結について （長江港浮桟橋改修工事）
議案第95号 物品売買契約の締結について （GIGAスクール用端末購入事業）	議案第96号 辺地に係る総合整備計画の変更について
議案第97号 上島町教育委員会委員の任命について	議案第73号～議案第88号 決算認定案16件を一括採決 令和元年度上島町一般会計歳入歳出決算認定　他15件
議案第89号 令和２年度上島町一般会計補正予算（第６号）	議案第90号 令和２年度上島町介護サービス事業会計補正予算 （第１号）
議案第91号 令和２年度上島町特別養護老人ホーム事業会計補正予算 （第１号）	意見書第２号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（案）

一般質問
町政を問う！

令和２年９月６日に開会された第３回定例議会では、８名の議員が一般質問を行った。
答弁に関しては、理事者側答弁ということで答弁者の個人名は省略しています。
※一般質問掲載文書につきましては、各議員が編集しております。

土居　計彦 議員

特別養護老人ホーム「海光園」の充実と高齢化に対応した増員検討を期待する

質　先日、生名地区で開催された「意見交換会」で、「海光園に奥さんを入園させたいが、２年以上希望しているのに、叶えてもらえない」という意見があった。どういう理由で受け入れてあげられないのか。他人事とは思えないので、海光園の現状と運営方針を尋ねる。

「看護師が１名不足しているので、受け入れ人数が５～６人少なくなっている」という説明を以前に受けていた。その後の職員の充足度はどうなのか。町民の高齢化が進む現在、入園希望者の入園資格と正しい申し込み手順の説明をお願いします。

将来は、受け入れ人数を増やす必要があるのではないか。施設を増やす必要もあるのではないか。検討されているのか。

答　海光園の現状と運営方針ですが、海光園の待機者の状況は、９月１日現在、47名です。入所に関する運営方針ですが、厚生労働省が示している「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」第７条第２項の規定により、申し込み順ではなく必要性の高い人を優先して入所していただいている。この規定に基づき「指定介護老人福祉施設（上島町特別養護老人ホーム海光園）入所指針」を作成し、海光園外の第三者委員２名を含んだ入所検討委員会で、公平、公正に、入所者の順位を決定している。

「２年以上希望しているのに叶えてもらえない」という意見についてですが、入所の順番は、先に申しましたとおり、申し込み順ではないので、何年もお待ちいただいている方もいる。海光園といたしましては、１年以上待っていただいている方が有利になるように、待機期間に応じて加算点数を設定している。また、町外者よりも町民の方が有利になるように加算点数を設定しております。そうした加算を行ったうえで、入所検討委員会で検討した結果、残念ながらまだ順番が来ていないということです。

職員の充足度は、５月までに２名の正規職員の看護師を採用し、７月には１名の会計年度任用職員の看護師を採用している。看護師不足に対応するため、３月から健康推進課の保健師を専任１名、兼任３名を派遣して貰っていたが、看護師の採用に伴い、８月末で保健師の派遣を終了している。看護師については、まだ完全に充足したとは言えませんが、５月29日から新規入所者の受け入れを再開している。一度に満床にすることはできないが、看護師の状況を考慮しながら、段階的に受け入れを行い、出来るだけ早く満床になるように努力している。

入所資格については、原則要介護３～５となっている。

正しい申し込み手順ですが、まず、事前に海光園に電話等で相談をいただいたうえで、正式に入所申込書を提出していただきます。そして、その方の状態や家族の状況等の調査を行い、年４回（４月、７月、10月、１月）開催する入所検討委員会で順位を決定する。順位が決まると、待機者名簿に登載され、空きが出たときに順番に入所していただく。なお、一度決定した順位も、入所検討委員会の度に見直され、新しい順位が

決定される。

「受け入れ人数や施設を増やす必要があるのではないか」についてですが、愛媛県の高齢者保健福祉計画及び介護保険事業支援計画に県内のベッド数も定められており、町が勝手に増やすことはできません。また、現在のところ、運営状況や財政状況等、総合的な判断により、海光園の定員や町営施設を増やす計画はない。

海光園の運営につきましては、出来るだけ早く満床にして、適切な運営ができるように、引き続き努力して参りますので、ご理解とご協力のほどお願いします。

質　将来的には、収容人員を増やす検討もぜひ行っていただきたい。

猪被害撲滅対策を実施せよ

質　4年間、猪対策を要望してきた。対策は一向に進まないが、被害はますます増えている。まず、上島四島の被害の実態調査を行い、現状認識してはどうか。それを基に個体数減少対策を実施しましょう。

このまま放置すると、農作物の生産意欲は減退し、耕作放棄地化は確実に早まり、増えていく。上島町の果樹収穫量も、減少していくのは間違いありません。夜ごと集落の海岸近くまで群れが歩き回って、庭の樹木までも掘り返している。

ここまで来ると、人的災害も発生するのではないか。実態調査と改善を強く求めます。

答　猪対策は、数年来の懸案案件であり、土居議員をはじめ、他の議員の皆様にも質問をいただいている。

町としては、生活区域での捕獲はできないことから、引き続き、農作物等の被害対策として、畑の防護柵設置の補助及び各捕獲隊による捕獲活動の支援により、個体数の減少を図ることが最善の策と考えている。また、捕獲組織の強化策として、狩猟免許取得の全額補助による捕獲資格者の確保・育成を継続して行い、結果として、民家やその他への影響が最小限に抑えられるよう努めて参ります。

捕獲実績ですが、捕獲隊の皆様のご協力により、平成30年度・１６０頭に対し、令和元年度は２９６頭を捕獲しており、捕獲頭数で１３６頭増加、前年比で85％増となっている。今年度は、８月末現在、92頭を捕獲している。

実態調査につきましては、農協と協同で被害額の試算を行うなど、被害状況の把握に努めており、それを基に猪の出没箇所への罠の設置等により、効果的に捕獲できるよう、更に捕獲隊との連携を密にし、個体数の減少を図る。

質　ＪＡさんも協力はするという方針でやってくれているので、捕獲実績を高めるために囲い罠などの設置をぜひご検討いただきたい。

一般質問への答弁の改善策が実行されていないものについて、確認と改善策を尋ねる

質　この４年間に行ってきた私の一般質問に対する答弁の改善策が実行されていないものがある。改めて確認と改善策を尋ねる。地区の要望は地区長との連名が良いという話もあり、地区長さんにお願いして提出していただいたものもある。しかし、改善は見られない。住民の皆様が危険を感じるような不安全状態の改善には早く対処すべきです。永く放置すれば、政治不信に繋がる。

要望

一、「生活道路の溝蓋のガタガタを改善してもらいたい」
２～３年、要望してきた。

二、「避難路の補修と不良溝蓋の改善」
２年ぐらい要望してきた。

三、「町道と住宅地内生活道路の路面塗り替え。
40～50年改善されていない上弓削寺道線と宅地内の生活道路」

四、「民家周辺や耕作頑張り畑周辺の20メートルを超える雑木の処分」

五、「農道の補修・農道側溝などの補修」

答　水路蓋の改善と舗装の補修についてお答えします。

平成30年第4回・令和2年第1回定例議会において、「交付金の補助事業対象以外の路線の舗装補修は、地区要望により交通量や緊急性を勘案しながら対応いたします」と回答している。

今回ご質問の要望箇所は、土居議員の改善要望と合わせて地区要望を今年度受けている。現在、町全体の地区要望を精査してところですが、今年度実施できる予定です。

今後におきましても、交通量や緊急性を勘案しながら舗装補修、水路補修を施工することとしておりますので、ご理解よろしくお願いします。

4番・5番のご質問に対しては、農林水産課長が回答いたします。

4番の「20メートルを超える雑木の処分」の質問につきましては、昨年12月議会での土居議員の質問と存じます。再度同じ回答になりますが、個人所有地の雑木については、所有者に対応していただくことが原則となっておりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして、5番「農道補修・農道側溝」の質問につきましては、平成30年の9月議会での質問と存じます。30年の豪雨災害では、多数の農道が被災しましたが、現在、主要な農道から順次復旧しております。その他の維持補修箇所につきましては、昨今の財政状況により一度には対応しかねますので、予算確保ができましたら、緊急性を考慮し、順次対応します。

質　駄目だという答弁もありますし、これからボチボチやっていくという答弁もありました。先日、現場も確認していただいたことでもありますし、出来るだけ早く復旧、復興していただくようにお願いします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊

新型コロナウイルス対応につき、町民の不安解消を図られたい

平山　和昭　議員

質　8月に行われた議会と町民との意見交換会で、「町の新型コロナウイルス対応につき大変不安を感じている」との意見が出た。ウイルス感染が心配な高齢者がどういう手順でどう動けばよいのか、保健所の指示で県都へ出向くなどとなると自家用車で動けない者はどうするのか、という意見だった。予防や消防救急対応などは町広報誌や回覧等も配布はされているが、それらが高齢者の方々の頭にすっきり入っているとは言い難く、町として相談から検査を受けるまでの手順、移動手段などシンプルな流れの、町独自の取り組みが必要ではないのか。

答　本町は離島であり高齢者の方は移動手段などにつき不安を感じていると思われる。配布しているリーフレットに加え、再度リーフレットを作成し、内容については町の相談窓口、病院を受診する場合の移動手段については、自身で移動できない場合は保健所や救急車による搬送、かかりつけ病院での検体採取の方法があるなど、分かりやすく町民の皆様にお示しする。

質　「宮脇　馨　上島町長による今期の行政総括及び将来展望を示されたい」

合併第4期目に町政を担ってこられた宮脇町長の4年間の実践、実績はどうであったのか。総括及び将来展望をお聞かせ願いたい。

〈行政総括〉

答　4年間の総括と将来展望についてだが、難問山積ながら誠心誠意で取り組んだ。しかし思いのたけの半分も出来てないのではないかと反省もしている。予想外の財政状況にショックだったが、もう一つのショックは、町長室に何一つ書類がなかったこと。懸案事項の経緯が分かる資料などは大事な公文書のはずだが焼却されたようであり、公文書とみなされるはずのパソコンデータも、二度と復元できないようプロの手で廃棄されていた。驚きと同時に不思議でならなかった。これまでの箱物の整理統合の道筋をつけるのが私の任務と心得ていたが、やっと公共施設の統廃合に向け一、二歩進み始め

たところというのが現状である。実績については以下分野別に述べる。

■防災関連

・消防からの提案で危機管理室を町長部局に移管。防災対応能力の向上と迅速化を図ることができた。

・現在の防災無線を、スマホなどにも対応できる防災情報伝達システムに変更する方針に着手した。今までの防災無線を更新するよりはるかに投資効果は良いとの判断である。

■医療関連

・医療環境の悪化や救急搬送の長時間化、救急隊員不足に対応するため消防からの提案を受け、平成30年に消防職員定数25名から35名に増員、計画的な採用を行っている。消防庁から令和8年までに女性職員の割合を5％までに引き上げる目標を示されており、女性消防職員の登用を始めた。現在1名だが目標5％を達成する2名を目指している。

・特殊車両の老朽化が著しいので町内に適応した3トン型の車両に更新した。

・災害等が発生した場合に各支所で即対応できる予算を計画的に配備し、緊急対応能力の向上を図った。

・魚島の医療、医師不足を改良するため神石高原町からのヘリコプター診療を実施し、次の常駐医の就任されるまでのあいだ続けていただいた。

■教育関連

・平成29年度より弓削高校の魅力化事業を開始し、年次入学者20名以上という目標をクリアすることができた。入学者数は令和2年度、30名。全国募集も開始し、在学生の62％の入塾率を達成している。

・人材の確保と定住促進のため愛媛銀行と連携した「かみりんローン」、その返済を補助する「ゆめしま奨学金制度」を立ち上げた。

■産業振興関連

・青いレモンの復活を目指し、生産力回復のため苗木を平成29年に4千本、平成30年に2千本を廉価での販売と改植を勧め、価格が一番高くなる夏場に対応する周年出荷を実現するべく青いレモン増産のため、農業用ハウス導入の支援を図り36アールが増加している。

・担い手農業者、新規就農者補充のため、ハウス導入支援、ワーキングホリデー、お試し研修、インターン事業等と連携し、農業者の拡大確保をしてゆく考えである。

■交通体系関連

・岩城橋開通にむけ臨機応変に対応できるよう生名船舶事業とバス事業を直営化した。

・公約の75歳以上の生名フェリー無料化を復活させた。

・生名フェリーの大型化を図り、フェリー「ゆめしま」194トンを建造した。

・長崎側待機レーンの周辺整備を進め、広島県側と交渉し長崎待機レーン出入り口近くの交通信号器を廃止することができた。

・高齢者の自動車免許返納につき、交通安全協会と共に所轄警察署にお願いし、全国初で各駐在所での免許返納ができるようにした。

■水道関連

・予想される大規模災害に備え非常用水の確保として島ごとに40トン貯水施設の整備を進めている。

・避難所対応の飲用水確保には空気中の水蒸気から水を作る空水機の導入もしている。

〈将来展望〉

答　コロナ禍の先が見通せない中で地域社会の持続性に焦点を絞った政策の組み立てが求められている。島の良さを最大限に引き出し、コロナに強いライフスタイルをみんなで作るには、これまでのような行政運営は限界が来ており、新しい時代に即した町づくりを推進するため外部からの知識、経験、人材を積極的に導入し、国連が提唱しているSDGs（持続可能な開発目標）を定め、我々の身の丈に合った地域づくりを進めるべきだと考えている。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊

大西　幸江　議員

災害に強い　上島町を目指して

質　**各家庭に配布されている防災マップの見直しは、どのような形で行うのか。どこまで進んでいるのか。町の方針を含めて説明せよ。**

答　防災マップの見直しについては、昨年、自主防災組織の代表の方にアンケートをしている。また、地域で集まってもらって話

し合った結果を防災マップに反映させたいと考えている。印刷・配布は、補助事業の活用と防災マップへの高潮浸水想定区域の掲載をするため、来年度に実施する。今後は、国の要請もあり、小学生が地域の実情を調べて、マイタイムラインを作成する機会を持つ予定をしている。そのあと、地域にマイタイムラインの作成を広げていきたいと考えている。

寺下　満憲　議員

方針・計画・準備　実行は　的確に

質　令和2年度塵芥業務委託業務決定方式を、随意契約から入札方式に変えることを町長は職員にいつ、どの時期において指示をしたか。また、クリーンセンター管理運営業務委託は、当初予算計上時点では、昨年と同様の委託料金額が計上されていた。クリーンセンター運転業務を職員と業者委託の併用にすることを決めたのはいつの時点か。なぜ、職員給与と委託料を、区分をした形での当初予算計上はできなかったのか。

そして、町長は、就任してから予算単価の見直し、随意契約者との単価交渉などを、なぜ取り組まなかったのか。それから、6月定例議会での答弁で、今回、選定委員会を開かなかった理由として、公募公告により、公募条件が明確に示されているから、公募要項を作成した担当課である生活環境課により、「適切な審査をしたこと」と副町長は答弁した。担当課の起案書が、町長決裁で活かされなかった事は、副町長はどのように思っているのか。町長答弁として、町長が責任をもって適否を判断したそうですが、その結果から、開札時に町の予定価格から入札価格が大きくかけ離れていることを重要視もせずに、また業者指導もしなかったために、その挙句のなれの果てが弓削地区の予定価格と入札価格の大差が生じたことになった。そして、生名地区の仕様書に対して、業者の不理解から仕様書通りの金額になっていなかった。また、岩城地区の落札率は、98・25％で旧態の随意契約と同じ高止まり状態の金額となっている。町長は、この価格の分析をどのようにしたか。答弁を求める。

答　職員に指示したのは、明確に覚えておりませんが、契約の切れる半年以上前から動き始めている。

クリーンセンターの運転業務併用を決めた時期は、かなり後であり、当初予算編成作業までに間に合わなかった。

単価見直しについては、適正価格の検証作業を進めている。業者指導や単価交渉をするとか町の制度、法律を度外視は、やってはいけないこと、出来ないこと、これはしておりません。

私は、担当課の起案書は、きっちり活用している。ただ判断基準が担当と私の食い違いがあった。

副町長としても、起案書の決裁は、町長が責任をもって適否を判断して、町民の権限内で決裁を行ったと思う。

架橋開通に向けて　道路状況の点検と整備

質　県道と町道、また県道と県道の交差点部分の危険度の点検と併せて岩城地区の南地域では、橋の関連事業整備計画が進んでいるが、北地域は、どのような計画が立てられているのか。また、弓削地区、佐島地区、生名地区の以前から整備計画があったが、今日まで頓挫をして、未整備区間があるが、今後、その点についてはどのように進めていくか、答弁を求める。

答　県道、町道共に新設改良工事の着手前に道路管理者で交差点協議を行い道路構造令の確認を行っている。同時に公安委員会とも協議を行っている、道路交通法での安全性も確保できている。

岩城地区の北地域整備計画は、長江池付近の県道が一部未整備区間は、現在のところ整備計画は、ありません。弓削総合支所南側の未改良区間は、地権者と継続して用地交渉を行っている。生名地区の立石港務所付近の未整備区間についても現在整備計画は、ありません。佐島地区漁港内の道路改良は、地区要望提出があるが関係者との協議が進んでいない、また、地権者等との協議を行い、事業推進をする。

今治土木事務所道路建設課長より「地元の協力なくして事業実施は、成り立たない考え」、町として用地交渉等、全面的に協力して未整備区間の事業に向け取り組んでいく考え。

前田　省二　議員

議会答弁と公約への責任について

質　宮脇町政4年間の任期が残りわずかになったので、公約の達成度などについてお伺いします。

町長は「総合評価落札方式での競争入札が良い」と言われましたが、この約束はどのような形で守られたのか。

また、因島長崎桟橋側の土地買収と車両待機レーン整備の完成予定はいつでしょうか。

他にも「町内バスの無料化」、「尾道市民病院・農協病院へ直行バスを走らせる」などの公約は、実行しない理由は何なのでしょうか。

答　現在、総合一般競争入札の対象工事の内の簡易型総合落札方式、これによって落札者を決定することは、適当と認められる行為として進めているところであります。

総合評価方式、これは、対象工事が、設計金額が、3，000万円以上の土木工事の内の実績確認型という事でやっています、件数は少ないけど継続性でもって取り組んでいます。待機レーン整備事業につきましては、令和3年度中の完成を目指しております。

それから、町内バスの無料化とか、尾道市民病院、農協病院の直行バス、これらの公約につきましては、財政負担が大きくなり過ぎたために今すぐに出来る財政状況でないという事で判断しております。

フェスパについて

質　フェスパ運営について、町長は「来年度からスポレクと切り離す。」と表明しています。これは、どういう意味なのでしょうか。これは3年前、町長が強引にスポレクをフェスパの指定管理業者に決定したことを自ら間違っていたと認めることになります。そこで5，000万円を超える借金はどこが負担して、誰が払うのか。又、誰が責任を取るのか。切り離した後は誰が運営するのか、お答えください。

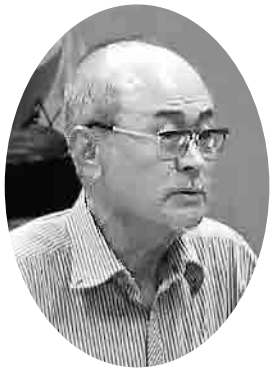
答　運営資金ですが、これの負担と言いますか、これは当然スポレクとして、責任をもって、これから時間がかかりますが払っていきます。

それから、スポレクから切り離した後のフェスパ運営ですが、来年4月以降は業務委託という方式に変えて、今のやり方を徹底して、赤字をこれとこれを落とせばこういうふうになる試算を今やっております。その内容を提案させていただいて、1年間試験をさせていただき、次の指定管理者を提案させていただきたい。

広報誌について

質　「広報かみじま」9月号に、町長は10月の選挙について、立候補者である自らの主張を述べていますが、広報を使っての活動は公職選挙法に違反する行為であり、私物化であると考えられますが、お答えください。

答　「町長の独白広報の記事」ですね、この全般についてですが、これは私の4年間の行政運営を振り返った今後の行政運営の進め方についての考えを述べさせていただいたものでありまして、ただ今のご指摘には全く当たらないと思います。



檜垣　一成　議員

上島町を活気のある住みやすい町に

質　上島町は、風光明媚な瀬戸内海のほぼ中央に位置し、環境面からも災害の少ない、非常に住みよい町です。

岩城橋が完成すれば利便性も増し、生名フェリー新造船の運航も間近であり、この特性を生かした活気のある町づくりを目指してほしい。

少子高齢化が進む中で、いろいろ課題がありますが、ぜひ、前向きに推進していただきたい。この点についてお考えを伺います。

答　上島町は隠れた資産をたくさん持っていると思っています。岩城橋が開通することによって、この上島町自体が、大きく変わって行く節目の年になると思います。それを見越して長崎栈橋、生名フェリーでありますとか、そういった対策を構えてきたわけです。実現に向けて動いているところです。

現在、町民の皆さんの多くは、この町は、これといった魅力もない将来の希望もあまり持てそうにないという諦めに似た気持ちをもっているのではないでしょうか。

しかし、この辺りで考え方を変えていかなければなりません。コロナが蔓延している世界を見渡してください。世界のあちこちで無意味な戦争は頻発しています。砂漠がどんどん広がっています。国内でも都市部では次から次へと感染が広がり、どこに落ち着いていくのか状況が見えない。しかし我が町を振り返ってみてください。穏やかな海に囲まれた平穏な日々が続いています。確かに地域経済の先行きは不安だらけですが、工夫次第でこの生活を何とか維持していけると思います。もちろん造船のように外貨を稼げるものはどんどん稼いでもらって、外貨で地域に眠っている資源を地道に掘り起こして新しい経済の流れを起こしていくべきです。

これらの作戦について、ヒントは直ぐ近くの大三島にいくらでもあります。この島は、外部から人がどんどん入っています。そして新たな取り組みに挑戦しています。もともと住んでいる人達も手をこまねいているわけではありません。頑張って新たな取り組みに挑戦しています。お互いに刺激し合いながら、相乗効果を発揮しています。瀬戸内海の真ん中にある豊かな地域資源に恵まれた、上島町の可能性は、まだまだ拡大余地十分であります。新しい物を受け入れるその力さえあれば、地域に刺激が生まれ、それが活気に繋がり、地域経済に派生していくのです。お互いにそんな気持ちがあれば、自ずと住み良い町になって来るはずです。役場はそんな動きを邪魔しないようにサポートして、しっかりと支援していく覚悟であります。そういった気持ちでどんどんと前向きにやっていきたいと思います。

質　**他町村では、都会からの移住者の話も良く聞きます。上島町も空き家も多いし、受け入れ態勢を整えて、もっとＰＲしていただきたい。若い人の住み易い町づくりがこれから上島町には必要だと思います。是非、前向きに考えていただきたい。**

答　ご指摘の通りだと思います。空き家対策につきましては、空き家の基本的な調査、それの判断、そういった基礎調査を今年度からはそれを活用する手段として、地域おこし協力隊の二人を充てまして、それをいかに活用していくかという事で、今、取り組んでいる最中です。

昨日も岩城地区の方から相談があり、何とかそれを活用したいという、新規定住の方が、そういった方も問い合わせがどんどん入っております。

今の空き家をいかに活用するか、本当に2～3年放っておくとどんどん老朽化していきます。そういった事のないようにいかに活用して、定住人口を増やしていくか、先ほど言った部分もう一つ前、前段として頑張っていきたいと思いますので、皆さんも是非その辺りにつきましては、ご協力をお願いしたいと思います。

濱田　高嘉　議員

職員の守秘義務違反に関して

質　町長に「職員の守秘義務違反についての提言書」を提出し、7月30日付けで議会に回答書を頂きましたが、余りにも形式的で社会通念の域を出ない回答と思えてなりません。改めて質問します。事業者名、担当職員名及び要望事項等が記載された役場内部の報告書が公開されたが、町に都合よく作文された報告書で、事業者が被る影響等を考慮せず、いとも簡単にタイミングよく情報公開を行ったか、このことの是非を自問すべきであり、報告書の内容を詳細に調査し、事実確認等を行っての判断の結果なら、まったく異なった対応となり、当然、職員等にも何らかの処置が課せられるべき事案と考えるが、答弁を願います。

答　私が深く思慮することなく決裁と言うか、ハンコを押してしまった部分がございます。これは、未だに深く反省しております。そのうえで、答弁させていただきますが、上島町情報公開条例の第一条では、その目的として「町民の知る権利を保障し、町民による町政への参加を進めるのに資する」とあることから、私は請求があれば出来るだけ要望に沿った対応を執るよう指導してきたことが逆作用へと働き、調査及び事実確認等への踏み込みが浅いまま、決裁したことに反省しています。

　今後は、提言書を真摯に受け止め、疑念を持たれないよう職員への指導・監督に努めて参ります。

上島クリーンセンター焼却炉修理費用に関する関連書類等について

質　上島クリーンセンターは、平成20年3月に弓削大谷地区に完成したゴミ焼却施設で早や12年が経過し、焼却炉の修理費用が当初504万円だったものが平成28年度4，979万円、29年度4，501万円、30年度4，126万円、令和元年度4，206万円と高額で推移してきたが、令和2年度の修理費用がこれまで支払った金額の半額以下の1，654万円の予算金額となり、これは先に一般可燃ゴミの収集・運搬処理業務委託を随意契約から入札制度を導入したことによる連鎖的影響と考えるのが自然で、12年間の年度別焼却炉修理費用の洗い直しのため、焼却炉修理に係る契約書、見積書、仕様書等々を議会に提出を求めて、早5ヶ月も経つが、未だに議会に提出がなく困惑しているが明確な答弁を願います。

答　議員の要請に対応することができず、役場の失態と言いますか、勘違いですか、色々と重なりまして、要請にお答えすることが出来ず深くお詫び申します。

　再度精査した結果、3日程前に平成27年度の一部分を除く、すべての関係書類等が見つかり、改めて議員にご報告し、お詫びいたします。

質　関係書類等の提出を求めること5ヶ月、やっと見つかり安堵したが、仮に、見つからず書類の破棄、焼却等がなされていれば大問題となる。書類の管理保存等については、事務決済規程、財務規程、及び上島町文書取扱規程では6種類に分かれ、第1種は、永年保存、第2種は30年、第3種は10年、第4種は5年、第5種は3年、第6種は1年と厳しく規定されており、提出を求めた関係書類は、第1種にあたり、「永年」管理保存に該当する。

答　今回の不手際を猛省し、今後二度と再びこのような事態にならないように、我々行政職員は文書（書類）は「町民の財産である」ことを再認識し、管理保存に努力して参ります。

村上要二郎 議員

条例の見直しについて

質 本町において、様々な問題が起こっている。これは、条例や各種制度がうまく機能していないことにも原因があると思われる。議員や業者が条例を捻じ曲げて、都合の良いように行政を運営した。公平性や財政の安定性を考えた条例や制度を制定するべきであり、そうでなければならない。上島町の公共事業が町民のケンカの道具に使われないためにも、条例を再度練り直し、公平、公正な行政運営を行う必要がある。

答 条例等の例規の見直しは、議会からの指摘等により全例規の精査を行い、改廃等の見直しを実施している。定期的な見直し作業は、年1回担当課所管の例規の精査を行うよう指示をしている。

質 条例の見直しは定期的に見直しをしているが、更に精査して上島町に合った条例・制度に変えていただきたい。また、議員各位も条例というものは大事なものなので勉強していただきたい。

公務員の義務について

質 職員であれば絶対に守らなければならない。役場内でも十分に周知されている。しかし、職員の義務については、他にも職務専念義務や身分上の義務、また、告発の義務も守らなければならない。職員の教育について、どのような方法で、これらのことを教育しているのか。また、一般行政職以外の職員においても、しっかりとした教育がされているのか。

答 職員の教育については、庁内での新規採用職員研修や講師による法令執務等の研修を実施している。また、愛媛県などが主催する研修などに参加させ、職員の資質の向上を図っている。普段の執務においては、所管課の管理職に職員の指導・育成を担っているのが現状である。一般行政職以外の職員は、所管課の管理職が指導・育成を担っている。職員の資質の向上に繋がる職員研修は、町長が力を入れている分野であり、今後とも、積極的にすすめようと考えている。

質 守秘義務について、様々な個人情報が漏洩している。犯人探しをする必要はないが、罰則もあるので職員の義務は、しっかりと教育していただきたい。

財政健全化に向けた取り組みについて

質 経費が掛かるばかりで、町民のサービス向上に繋がっていない事業の廃止や縮小、町内業者への外部委託などは検討しているか。機構改革等はスピード感をもって行われているが、人材確保に課題がある。その対策案として、総務課長の役職での雇用延長や、早期退職した優秀な人材の再雇用も検討する必要がある。

答 事業の廃止や縮小、外部委託などは、来年度予算編成にあたって、検討を進めている。議員の提案部分も、来年度の予算に反映される。岩城橋開通を見越した定員管理計画の策定を進め、適切な世代交代と人材の確保に努める。また、多くの箱物施設を統廃合すれば一番効率が出る。集約化、効率化、スリム化、複合化が必要になる。最も大切なのは職員の意識改革、これが一番の大元になる。

質 支出を抑える努力が必要である。ケーブルテレビは数千万円の赤字が続くので、自主放送や施設管理を民間に委託し、赤字額を削減させるしか方法はない。ケーブルテレビ局の中に6人もの職員がいる。この職員を一般事務にすることで新規採用人数を抑えることもできる。大ナタを振るわないと町民に負担させることになる。「あの職員が働いてないのに、何で私がお金払わにゃいかんの」結果そうなる。住民に負担をかけないでいただきたい。

答 ケーブルテレビの管理職等は、企画情報課と兼務し、人員を削減する。基本は「出を制して」ということで前向きに取り組んでいきたい。

新議員　抱負を語る！

上島町議会議員　令和２年11月７日に改選しました。

徳永　貴久　議員

議員の職責とは「人格、識見ともにすぐれた住民全体の代表者であり、奉仕者であってこれが議員の本質」と議員必携に記載がある。

私は、以前から意識して心掛けていることがある。儒教の五常「仁・義・礼・智・信」だ。「仁」は相手を思いやること、「義」は利欲にとらわれず、なすべきことをすること、「礼」は相手に敬意を持って接すること、「智」は正しい判断、偏りのない考え方を持つこと、「信」は嘘をつかないこと、だ。どれも議員活動をしていく上で必要不可欠なものだ。

新居浜市のとある会社の応接室に「仁・義・礼・智・信」の掛け軸が飾ってある。それを見るまで私はこの五常を知らなかった。その社長は学生時代、素行に問題があり、「多くの人たちに迷惑を掛けた。だから、今は育ててもらった地域に恩返しがしたい」と話し、地元中学校とのコミュニティ・スクールに尽力している。その社長が「周りと協調して生きていくためにはこれ(五常)が必要よ」と言われていた。正にそう思う。私も上島町議会議員の一人となった。五常を常に意識し、他の議員と力を合わせ、上島町を良い方向へ進めていきたい。

藤田　徹也　議員

上島町が誕生して16年になりますが、平成16年から平成28年までの12年間の上村政権においては、町民重視の政策がとられ財政も健全で基金も確実に増やし、愛媛県屈指の安定した行政運営が行われていました。

しかし、宮脇政権に変わりこの４年間で、町民重視の政策は著しく損なわれ、無計画な政策により基金の取り崩しに歯止めがきかず、財政危機にまで陥っています。

この様な行政運営、議会運営を見過ごすわけにはいきません。私達の大切な町、愛する故郷、先人たちが英知を絞り築き上げてきた故郷、上島町を何としても健全で正常に戻さなくてはいけません。私は二元代表制の一方を担う議会の責任の重さを胸に望ませて頂きます。この４年間の議会運営を見ていると、その思いには程遠く責任のかけらも見受けられません。議員の質の向上を目指し、議会の責任（行政チェック、議決、政策提言）をしっかりと果たし、自由で闊達な議論を交わし町民に開けた議会運営にしなくてはいけません。

上島町民の活力あふれる未来に向かって、財政再建は勿論ですが議会改革、議員改革と合わせて緊急な課題だと思います。私はこの課題に真正面に向き合い、何が何でも全力で前に進めて参ります。

山上 耕司 議員

皆様こんにちは。この度、上島町議会議員に新しく加わることになりました山上 耕司です。

上島町に新しい風を吹かせたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

抱負と致しましては、「暮らしやすい島、日本一」を目指し、教育・福祉の充実に取り組み、また「訪れたい島、日本一」を目指し、商工観光の活性化に関わっていけたらと思います。一歩一歩、少しずつではございますが、自分らしく自分のできる事から邁進して参ります。

岩城橋が完成間近になりました。橋は島と島を繋ぐ物ですが、人と人を繋ぐ為の物でもあります。

上島町が文字通り「ワンチーム」になれますよう頑張っていきたいと思いますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

宮地 利雄 議員

上島町民の多くの御支持をいただきまして議員になることができました。

私が町議会議員になろうと考えたのは、昨年の夏、県老連健康づくり大学校が開催されました。その授業の中で、年齢に関係なく、社会に役立つことができる、ということを学んだからです。

妻を病気で亡くし、私もこの先何十年生きているかわかりませんが、有意義に生きて、この上島町にいくらかでも社会奉仕をして、この世を「さよなら」したいと思ったからです。

まず、議員になって何をしたらよいのか？何ができるのか、それは上村町長がいつも言っている、安心して住める町づくり、『愛ある町』『心ある町』が大切だと思います。これを町民のみなさまと共に育み、共に歩んで行きたいと思っています。思えば、この小さな町にも困り事も沢山あります。例えば、空き家の問題・消防車や救急車の入れない狭い道路、毎年のように起きる崖崩れ、又、町議会議員が多すぎやしないかという声も聞こえます。それから、旧魚島村の事です。共に歩んで行けたらと思っています。

最後になりましたが、私はみなさまと共に安心して暮らしていける町づくりを目指します。

林 康彦 議員

右も左も分からないまま、あっという間の4年でしたが、勉強になりました。

上島町の問題点を一言でいうと、お金がない。その為、行政改革に取り組み、予算の削減を行っているが厳しい状況で、簡単にはいきません。これから少子高齢化が進み、人口の減少が顕著になりますが、議員も議員定数や経費削減等、自らも身を切る努力をすべきです。そして我々が作った負の遺産は、後生の子や孫に押し付けることがないように、私たちが解決すべき事です。瀬戸内海の豊かな自然を守り、残す事も大事です。子供たちの明るい未来の為に、皆で知恵を出し、取り組んでいきます。

池本　光章　議員

議員二期目を迎えるにあたり、新人議員でありながら総務文教厚生委員長、予算決算委員長として2年間、議長として2年間拝命を受け、議会運営に専念してきたことを考えると、これから先の4年間、職責の重さを痛感しているところです。

新人議員として第一歩を踏み出したとき、送り迎え付きで保育所に通っていた幼児が今や元気に集団登校している小学生児童に成長しています。挨拶もしっかりとできかろやかで、楽しそうで、心がいやされます。この町に生まれてくれて本当にありがとう。

この子たちが成長して上島町を後にしたとき、果たして友達を連れ帰ってくれるのだろうか。そして「えかろう」「すごいでしょう」と自慢してくれるのだろうか。そこをしっかりと意識して、密度の濃い4年間にしたいと考えております。

学習環境の整備、高齢化に対応した福祉施策、少子化対策、子育て支援、地場産業振興等課題に向けて、自己研鑽を重ね貴重な1票の重さを糧に、「心が通う町創り、会話ができる町創り」を目指して、議員活動を全うしていきます。

藏谷　重文　議員

令和3年末には岩城橋が開通します。今まで来ているサイクリスト観光客は現在の10倍は来島します。岩城島には、素晴らしい景観のホテル、弓削島にはリゾート・フェスパがあります。生名島にはスポレク・プール、素晴らしい野球場もあり、波間田にはアウトドアが楽しめるキャンプ場、コンサートも楽しめる所があります。

活気ある上島町をつくります。上島町には沢山の自然があります。自然を利用する観光開発をします。

上島町人会を設立し、上島町出身の方々に声をかけ、上島町に来ていただき、町民と行政とで懇談会を開催し、上島町の魅力を再認識していただきたいと思っています。

私の好きな武将は武田信玄です。信玄が申した言葉で、「人は城、人は石垣、人は堀、情は味方、仇は敵なり」と言った。人こそ我が上島町の核であります。正にこの通りであります。平和で活気ある町づくりを目指します。

大西　幸江　議員

皆様の温かい見守りとご支援のおかげで、3期目のスタートに立つことが出来ました。

3期目も「教育」と「福祉」に重点を置いて活動をしていきます。「初心忘るべからず」と申しますが、初当選から全く気持ちは変わっていません。今までと変わらず、住民の方の目線で唯一の女性という立場を守りつつ、住民の幸福のために、是々非々の判断をすることを使命として活動していきます。

その中で大きな目標の一つは、住民の方の意見をお伺いして「困った」をみんなで解決できるような活動ができればと考えています。今行っている、小学校での読み聞かせや図書ボランティア、地域防災活動のお手伝いも住民の方の声から進んできました。この活動を継続していきます。それ以外にも、積極的に参加することによって、問題の発見、解決に取り組みます。

また、住民の皆さんに少しでもわかりやすい、議員活動や議会活動となるように、私自身が勉強することはもちろんですが、開かれた議会を目指します。議員は未来を作る仕事をしています。教育と生活である福祉に力を注ぎ、上島町のよりよい未来づくりに取り組みます。

濱田　高嘉　議員

３年にも及ぶ一方通行的な情報が駆け巡り、何が実像で、何が虚像だったのか、答えを出さずに去った今、時間は必要だが事の正否を問い、明らかにしなければなりません。

さて、この上島町には、取組まなければならない課題が山積しており、中でも行財政改革の一つに町内にある２６６の公共施設等の統廃合や複合化を検討し、岩城橋開通を契機に集約化や多機能化により、最適配置の実現を図り、総量の縮減に取組むと共に今後顕在化してくる多額の財政負担、老朽化したインフラ整備と箱物維持管理に係る膨大な経費が現在の財政を圧迫している事実、箱物住民一人当たりの延べ床面積が全国平均の４倍、愛媛県平均の２倍であるという事実、今後40年間の公共施設等の更新費用が総額で６７４億円、年平均17億円が必要である事実、これらの事実を認識し、公共施設のあり方検討協議会等で議論を深め、財政負担軽減に早急に取組むべきです。

また、議会改革の一つである議員削減問題です。現在の議員定数は14名ですが、最低でも2名、最大４名の削減を行うべきで、他の自治体の議員定数と比較しても妥当な削減数と考え、今期前半迄に条例化に取組みます。

井上　満憲　議員

国の政治は、安倍政権７年８ヶ月の中で、森友・加計・桜を見る会疑惑で、ウソと偽りの政治が進み日本社会のモラル崩壊が進みました。

そして、安倍政権そのものを引き継いだ「菅政権」は、日本学術会議の会員任命拒否は、自分の意にそわない事は、力づくで排除していく危険な政権です。

この４年間の町政でも、「フェスパ指定管理業者」「ごみ収集委託業者」などが条例を軽視する中で排除された。

また、議会では、申し合わせ事項を守らずルールなき議会運営で幼稚さが目立ちました。今こそ「不公平行政を是正」して、夢や希望のもてる上島町づくりに理事者と共に汗を流します。

さて、来年は、衆議院選挙の年です。国の政治が変われば町の政治も変わります。四国から日本共産党の国会議員誕生のためみなさんと共に頑張ります。

【　私　の　約　束　】

・高齢者の生活を支える交通システムの実現
・いじめや不登校をなくし、こどもの個性をのばす教育を
・家庭の負担を軽減する医療や介護の充実を進めます
・造船・農漁業を基幹産業に位置づけ、振興させます
・伝統文化、歴史的遺産をひきつぎ観光整備を進めます
・予算を厳しくチェックし、ムダと浪費をなくします
・イノシシ被害対策の推進
・憲法９条を生かし平和を守ります
・新型コロナウイルスに対応する体制づくり
・憲法を守り暮らしに生かします
・町職員の創意を大切にする行政

前田　省二　議員

私の議員活動は、平成7年に初当選させていただき、現在まで町民の代表として議会で頑張ってまいりました。

今後の抱負等でありますが、私の政治信条である、良い事は良いと賛成し、悪い事は悪いとし反対する「是々非々」をもって対応してまいりました。町民の方の声を声として議会内に反映し、共に安全で安心した明るい町づくりを目指して、初心を忘れず頑張ってまいります。どうぞ、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

亀井　文男　議員

原稿未提出

池本　興治　議員

議員活動、10期目を数え、長年培った経験を上島町の未来のために初心に戻り、全力で力を尽くして参りたいと思っています。

この町の大きな問題の一つに、合併して16年もたつのに未だに一つになりきれないことです。仲間外れと言うような差別をされ、まともな挨拶もしてもらえず、住みづらいと悲しい思いをしている人が数多くいる事です。

少しでも早く、みんなが仲良く笑顔のあふれる町にすることが私の務めだと思っております。

町の政策については、良いことはよい、悪いことは悪い、と「是々非々」であたっていきたいと思っていますので、町民の皆様のご理解・応援よろしくお願いいたします。

林　敬生　議員

一次産業、二次産業の労働者減少が進む昨今、造船業に支えられてきた瀬戸内海・上島町は少子高齢化も進み人口減少に歯止めがかからない状況となっている。また、団塊の世代が現役を離れていくに連れ、就労人口が減少している。（市町村県民税の減収に繋がる。）

そこで、農業・漁業を中心とした一次産業、造船業を中心とした二次産業に従事してもらう若者を育成出来る教育機関等を国策として上島町内に誘致し、後継者育成に寄与すると共に、指導者としても町内技能者が関与することで瀬戸内海を始めとする地方創世に役立てばと考えています。また、次代を担う若者が、上島町に住んで生活していけるよう、企業誘致についても促進できればと考えています。

上島町民の現在の生活を守ることも然ることながら、10年、20年先の上島町のあるべき姿を見据えた町政となるよう、微力を尽くしていきます。

生名と岩城で住民との意見交換会

生名で開催した住民との意見交換会風景

令和２年８月18日に生名と岩城で開催した住民との意見交換会で出された主な質問、回答内容は次のとおりです。
当日は、両会場とも活発な意見交換が行われました。

質 **生名の海光園の入所は、誰がどのような調査を行い、どういった基準で入れているのか？**

答 介護認定に基づいて、何人かの審査員で入所判定を行っているようである。（詳細は、土居議員の９月定例会一般質問答弁参照）

質 **因島総合病院の存続が危うくなっているが、議員の皆さんはどう感じ、どのような行動を起こし、今後どうすべきと考えているのか？**

答 因島総合病院は、上島町にとってはその存在は大きく必要な病院であるため、行政側から国や病院側に存続についての要望書を提出している。議会としては、今は特に行動を起こしていないが、今後、地域医療を前面に出した要望活動を展開することができると考えている。

質 **ゴミの収集委託の適正なあり方について、地方自治法の100条委員会を設置し、真相究明の責任を果たすべきだと考えるが、議員の皆さんのご意見を伺いたい。**

答 ゴミ収集の問題については、これまで長年、議会が予算を認め、決算も認定し今日に至っているので100条委員会を設置して検討することは困難と考える。議会としては、これまでの経緯等を調査したうえで行政側へ提言書を提出した。今後は、町が契約方法の見直しをはじめ、委託料の金額の妥当性等を十分に検証すべきと考える。

質 **人口が減少する中で、議員定数の削減という考えはないか。**

答 議員の中でも定数削減という案が出たが、今のところ削減はしないという意見が大勢を占めた。選挙後に改めて定数削減について検討したいと考えている。

質 **議員の皆さんの今期の自己採点をしていただきたい。**

答 出席議員が順に各々の自己採点を報告。

岩城で開催した住民との意見交換会風景

質　**コロナが疑われる場合の連絡先や手順等をわかりやすくまとめたチラシ等を配布していただきたい。また、生名フェリー乗船の際には検温も実施してほしい。**

答　コロナ感染症対策については、土居議員が６月定例会で一般質問している。フェリーでの検温は難しいと思うが、行政サイドに工夫するよう要望する。（チラシの配布についての詳細は、平山議員の９月定例会の一般質問答弁参照）

質　**クリーンセンター修理工事の書類の開示を求めても出てこないというが、その後はどのような状況か？**

答　行政側の回答は「書類が見つからない」という回答であったため、工事施工業者に関係書類を送ってもらったが、チェック作業はまだできていない。書類の所在は引き続き調査し、数名の議員で書庫を確認することも考えている。

質　**ゴミの収集委託業務の費用の妥当性は、どのようにして判断するのか？**

答　行政側と労務費の単価等を協議しながら同規模の町村の仕様書等を参考に判断したい。

質　**町財政の苦しい中、フェスパへ支援金を出し、他にも潮湯、芸予汽船などにも赤字補填していると思うが、今後も支援を続けるのか？**

答　潮湯は、旧町時代に住民の健康増進を目的に赤字を覚悟で建設した直営の施設。三セクでやっている芸予汽船は一旦白紙に戻して制度的なことや船の大きさなどを検討すべき。他にもスポレクやCATV等の赤字があるが、今後、住民にとって何が必要であるかを基本に考えて見直しなどを進めるべきだと考える。

質　**議員の定数を減らし、報酬を増やしたらどうか？**

答　議員の定数と報酬は別として考えるべきである。報酬は、生活できるに見合う金額を行政側が出すべきであり、定数は町の規模に応じた数を議員の方で十分に論じればよいと思っている。簡単に定数を削減してしまったら元には戻せない。

住民の感想

今回、ゴミ収集の件では、議員の皆さんが立場を超えて真実の追及に取り組む姿を見て、ありがたいと思った。

今回初めて参加したが、議員の皆さんのいろいろな意見を聞くことができたので良かった。

岩城橋が架かると環境も変わる。古き良き時代も良いが、新たなステップを踏み出すことを期待して、これからも見ていこうと思う。今後の議員の皆さんのご活躍に期待する。

町民の声

上島町議会議員選挙

私が御荘町から弓削町に住み四十三年になる。平成の大合併で愛南町・上島町と共に町名が変わった。帰省すると、議会の話題で出るのが人口二万二千の愛南町で定数十六名は多い。近隣の松野町が七名、鬼北町が十二名ということで十四名に削減という話も聞く。上島町においては、人口が愛南町の三分の一で十四名となっている。一行政区では、単純に人口比で決められるものではないだろうが、少し多い気もする。

私の会社もコンプライアンス（法令遵守）と地域貢献を言われる。議員も地域の名士であり、期待と町の未来を託されている。正に「議員さん」と評される。今回の選挙は注目を浴びていた。いろんなチラシで、これまで以上に町の実情と財政状況を知ることができ、考えさせられることが多かった。議員さんに望むものは経験も大切であるが、一番は「やる気」だと思う。

ダメなことは「ダメ」と言えること、より良い町づくりにプライドを持って取り組んでもらいたい。今回、新人に多くの票が集まったことは、「やる気」が町民に評価されたものだと思う。

上島町は、「しまの宝百選」「快水浴場百選」に選ばれ、京都東寺、塩の荘園など文化遺産もあり、子育て・教育も充実し、公共施設もフェスパ、スポレク等すばらしい町。公共のトイレは来町者からも「きれい」と評判が良い。

さて、フェスパは、来年の３月末でスポレクから切り離す方針のようだが、これで良いのだろうか。また、生名フェリーは大変便利だが、遅い時間帯における交通弱者のバスのアクセスはどうするのか。猪対策等その他山積みの課題と冒頭の定数についても視野に、議員さんの「本気」と「やる気」で取り組むことを期待する。

弓削地区　竹川　修

あなたの声をお聞かせください

「議会だより」では、より良い上島町にするために町民の皆様の声を募集しております。身近で起こった出来事、議会について思っていること、ご希望・ご要望など何でも結構です。ぜひ、議会広報委員会宛にお送りください。

〈応募要件〉

内容には制限はありません。紙面の都合上５００字程度にお願いします。

必ず原稿もしくは電子メールにてご応募ください。

住所・氏名は明記してお願いします。匿名はお受けできませんので、ご了承ください。

〈送り先〉
〒794−2592
越智郡上島町弓削下弓削210番地
上島町議会事務局
「議会広報委員会」宛
ＴＥＬ 0897−77−2500
ＦＡＸ 0897−77−4011
E-mail
gikai@town.kamijima.ehime.jp

発行　上島町議会
編集　議会広報委員会
委員長　徳永　貴久
副委員長　藤田　徹也
委員　寺下　満憲
委員　大西　幸江
委員　宮地　利雄
委員　山上　耕司
委員　林　敬生

12月　議会の活動予定

８日（火）	全員協議会
15日（火）	定　例　会
18日（金）	予算決算委員会
21日（月）	予算決算委員会（予備日）
23日（水）	定　例　会　　（再　開）